

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
1. 子ども・子育てに関する制度や社会状況における子育て支援事業の役割を捉えるための科目				
①子ども・子育て家庭の現状	講義	60分	<p><子ども・子育て家庭(対人援助を行う対象)に対する理解></p> <p>①子どもの育つ社会・環境</p> <p>②子育て家庭の変容</p> <p>③ワークライフバランス</p>	<p>①子ども・子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。</p> <p>②家庭の意義と多様な子ども・子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。</p> <p>③子ども・子育て家庭の支援について理解する。</p> <p>④子育て家庭の貧困や非行などの背景の概要について理解する。</p>
②子ども家庭福祉	講義	60分	<p><子育て支援制度の理解></p> <p>①子ども・子育て支援新制度の概要</p> <p>②子ども家庭福祉施策の理解</p> <p>③子ども家庭福祉に係る資源の理解</p>	<p>①子ども家庭福祉施策・制度の概要(子ども・子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置付け等)を理解する。</p> <p>②児童福祉施設等と専門職の役割を理解する。</p> <p>③子ども家庭福祉に関する地域資源の概要(地域の人材確保を含む)を理解する。</p>
2. 支援の意味や役割を理解するための科目				
③子どもの発達	講義	60分	<p><子ども・子育て家庭(対人援助を行う対象)に対する理解></p> <p>①発達への理解</p> <p>②発達への援助</p> <p>③胎児期から青年期までの発達</p> <p>④子どもの遊び</p>	<p>①子どもの発達の概要について理解する。</p> <p>②子どもの発達について発達観(「研修内容の構造」の視点(別紙))について理解する。</p> <p>③生涯発達の概要について理解する。</p> <p>④子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。</p> <p>⑤「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。</p>
④保育の原理	講義	60分	<p><子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解></p> <p>①発達・成長の保障</p> <p>②情緒の安定</p> <p>③生命の保持</p>	<p>①発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。</p> <p>②情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。</p> <p>③子育て支援事業における安全対策の必要性、危機管理の概要について理解する。</p>

基本研修の科目と内容(案)②

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
⑤対人援助の価値と倫理	講義	60分	<子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解> ①保護者・職場内・他組織・地域の人々との連携・協力 ②守秘義務・個人情報保護 ③子どもの最善の利益 ④利用者主体 ⑤対象者の尊厳の遵守	①対人援助の価値について理解する。 ②保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性を理解する。 ③対人援助の倫理についての理解する。 ④子どもの権利擁護の基本的視点を理解する。 ⑤子育て支援員の役割と倫理について理解する。
3. 特別な支援を必要とする家庭を理解するための科目				
⑥子ども虐待と社会的養護	講義	60分	<子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解> ①子ども虐待と影響 ②虐待の発見と通告 ③虐待を受けた子どもに見られる行動 ④子どもの権利を守る関わり ⑤社会的養護の現状	①子ども虐待とその影響(虐待を受けた子どもに見られる行動など)を理解する。 ②虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 ③子どもの最善の利益を尊重するための援助について理解する。 ④社会的養護の意義と現状の概要について理解する。 ⑤社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する。
⑦子どもの障害	講義	60分	<子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解> ①障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む) ②障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③障害児支援等の理解	①障害特性について概要を理解する。 ②障害児支援制度の概要について理解する。 ③障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要を理解する。 ④障害児支援等の現状について理解する。
⑧総合演習(レポート提出に代替可)	演習	60分	①子ども・子育て家庭の現状の考察・検討 ②子ども・子育て家庭への支援と役割の考察・検討 ③特別な支援を必要とする家庭の考察・検討	①履修した内容についての振り返りを図るためのグループ討議。 ②子育て支援員に求められる資質についての理解の確認。 ③履修した内容の総括と今後の課題認識の確認。 ※内容欄のテーマをもとに、研修効果の定着を図るために上記①～③のいずれかの振り返りを行う。